TSUNAGU 繋ぐ

文責：鴫 原 浩 之
令和 ３年 ９月１３日(月)

～ オンライン授業を考える ～

□ ステップ１ １学期・・・・・学年の発達段階に応じたタブレット端末の利用
□ ステップ２ 夏休み・・・・・家庭への持ち帰り
□ ステップ３ ９／３・・・・・第１回オンライン授業試行
□ ステップ４ １０月上旬・・・第２回オンライン授業試行（予定）
□ ステップ５ １０月下旬・・・第３回オンライン授業試行（土曜授業予定）
※ 福島市一斉「オンライン授業の日」が設定された場合は，ステップ４，５の変更あり

これまで，オンライン授業実施に備え，本校としてのステップを踏んでまいりました。
保護者の皆様には，“登下校への配慮”や“お子様のタブレット操作へのサポート”等，ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。また，「第１回オンライン授業試行」に伴う皆様の感想を届けていただきありがとうございました。
さて，次のステップに移行する前に，「オンライン授業と子どもの学び」について保護者の皆様にご理解いただきたいことをお伝えします。

【オンライン授業の限界】

□ 児童にとって
- ＷＥＢ環境の有無（家庭・学童）
- 通信速度の問題
- 集中力の持続
- 視力等への影響

□ 学校にとって
- サーバーの処理能力
- 機器活用スキルの難易度
- 家庭でトラブル発生時の対応
- 指導内容準備の負担

□ タブレットについて
- 画面が小さい
- 手書き入力がしにくい
- バッテリー容量が不足

【想定されるオンラインでの学習】

○ 授業スタイル（配信・双方向）
○ 発達段階に応じた学習時間の設定（１５分単位の学習構成等）
○ 朝の会（健康観察）

「でんじろう先生のサイエンスショー」や「ＴＶのＣＭで流れる塾講師の授業」のようなクォリティーの授業を，私たちがオンラインで準備・実現することは難しいことは間違いありません。また，小学生という発達段階を考えてもできることは限られてきます。

そこで，私たちが目指しているのは，
「オンラインを一つのツールとして，子どもたちの学びを止めないこと」です。
そして，子どもたちが，
「自ら学びに取り組むことができるように，意識づけ習慣づけること」です。

それを踏まえた「内容の工夫」とともに，現状の「家庭学習」を見直していきたいとも考えています。今後の取り組みへのご理解をお願いいたします。